

< ろうどう法講座 全体の流れ >

○クイズ形式

○×クイズ・求人広告間違い探し

○労働トラブル事例

イラストによる紙芝居形式

○法律の解説

労働基準法条文の参照

○給与の仕組み

給与計算
(控除されるもの・手取り額)

○労使の意識の違い

手取り額と会社負担の差

○コミュニケーションについて

コミュニケーション不足で起こる問題

○求人広告の見方

自分に合う会社かどうか
希望の仕事を考えるきっかけ作り

内容の構成に注意した点

<権利> = 労働法

①内容は簡潔に伝える

②優先順位を考える

募集・採用・労働条件の明示・賃金
いじめ 嫌がらせ・時間外労働 等

<義務> = 社会生活・人間関係のルール

①社会では役割・立場があることの理解

②コミュニケーションの重要性を意識してもらう

課題点など

①若年者就職支援事業、キャリア教育の見直し

現在実施されている内容

面接の受け方、履歴書の書き方等のテクニカルな内容

「職業講和」（地元企業の社長さんの体験談など 例 「働くとは？」）

「起業家教育」（カタカナ職業の人たちの話を聞く 等）

「金融教育」（株の投資を教える 等） といった内容も必要かもしれませんが...

社会に出て必ず必要になる「労働法教育」は重要！

②費用

受益者負担（高校生等の生徒）は難しいので継続的に実施していくためには公的な「予算化」が必要（最低必要経費としてテキスト代、講師代 等）

③意識改革

雇用多様化の時代を認識した働き方をしっかり説明

（いろいろな働き方のメリット・デメリット）

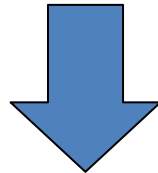
普通高校と職業高校との認識のズレ（進学のみ優先の進「学」指導）

就職させる事だけでなく就職後のフォローが重要

（就職率優先 → 早期離職の防止）

④学校教育の重要性を再認識したうえでの カリキュラムづくり

小中学校での、職場見学・職場体験を通じたキャリア教育



高校・大学での**労働法教育**
就職活動を意識したキャリア教育

権利・義務・コミュニケーションの3本立て

権利 = 知る

義務・コミュニケーション = 知る・納得・行動

☆権利を行使するよりも、義務を理解して遂行する方が時間がかかる